



ウェルフェア通信

Vol.4



🌿🌿🌿 平成23年度を迎えて 🌿🌿🌿



おおくまリハビリテーション病院
看護部長 西田 美恵子

3月11日、東日本に想像もしていなかった巨大地震・大津波が来襲して、被災地は言葉に尽くせない厳しい状況となっています。厳しい状況の中でも我慢し、耐えながら、それでもお礼の言葉を発していらっしゃる被災者の方々に、本当に感銘するとともに、心よりお見舞い申し上げます。微力ながらもできる限りの支援の輪を広げ、一日も早い復興を願っております。

おおくまリハビリテーション病院では、平成23年度を新病院開設に向けて、あらゆる関係者の方々にご協力をいただきながら、体制を整えていく準備期間と捉えております。

4月1日に新たに32名の新入職者・グループ内異動者を迎え、総勢281名の職員数で出発いたしました。看護部門は、看護師数が90名、看護補助者数37名、及び育児休暇中の看護職員5名を抱え、看護部総数は132名となりました。この大きな力を結集して、地域に密着した、皆様に必要とされる病院作りに励む所存です。

回復期リハビリテーション分野においては、365日、平日・休日共に充実したリハビリを行い、重症改善率や在宅復帰率の向上に努めています。全国回復期リハビリ

テーション病棟連絡協議会主催のリハ看護認定看護師は、現在4名が認定を受けており、より密度の濃いリハビリ医療に貢献しております。

急性期分野においては、一般病棟が1病棟しかなく、地域の救急要請に十分対応が出来なくてご迷惑をおかけいたしておりますが、新病院では、一般病棟の増床、カテテル室・手術室の拡充等を行い、急性期の充実を図りたいと思っております。さらなる看護師の増員を図り、常に救急に対応できる体制を構築していきたいと奮闘中です。

看護教育に関しては、専任の教育担当看護師長を配置し、新人看護師研修、現任教育・研修に力を入れております。平成22年度からは、看護学生の実習を受け入れています。学生実習を受け入れることで看護の実際を振り返り、看護の質を高めていきたいと思っております。また、EPAの第1期生であるインドネシア人看護師候補者1名が在籍しています。今回の看護師国家試験では、残念な結果となってしまいましたが、本人は日本に残っているいろいろな勉強をしたいと意欲を持っています。病院の総力を挙げて支援していこうと計画を進めているところです。

組織全体が学習する意欲を持ち、より良い医療が提供できるように頑張ってもらいたいと思っております。どうぞ、今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

新任挨拶



特別養護老人ホーム
ほがらか苑 施設長
平田 理恵子

就任にむけて

4月1日より「ほがらか苑」の施設長に就任いたしました平田です。

～私達は、あなたが歩んだ人生の重さを想い、あなたが最後に「いい人生だった」と思えるよう全力を尽くし支援します～この基本理念のもと、ほがらか苑は十二年間を積重ねて参りました。東日本大震災の映像を見るたびに、阪神淡路大震災を思い起こし、また「戦後もこうであったのか」と想像することができます。今、ほがらか苑で暮らすご利用者は、まさにこの歴史を生き、復興に尽力し現代の豊かさを築いて下さいました方々です。「ありがとうございます」という気持ちを職員全員が持ち、改めて理念の

言葉を実感しているところです。

老いや病気によって人の手を必要とする方に、適切な医療・介護によって「苦」を除き、穏やかな日々を過ごしていただきたい。職員一同そう願っています。

幸い、ほがらか苑は朗源会ウェルフェアグループの介護施設として在り、医療機関・介護施設・在宅支援事業等々と連携しており恵まれた環境にありますので心強い限りです。

この特色を活かし、多くの専門職・ご家族・地域の皆様の力を借りながら、ほがらか苑で暮らす皆様の毎日が、穏やかで心豊かな日々であるよう尽力いたします。

どうぞ、そのためにご指導・ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。



おおくまリハビリテーション病院
外科医員
磯部 涼

平成23年4月1日よりおおくまリハビリテーション病院・外科に勤務する事となりました磯部 涼と申します。

現在に至るまでに岡山県にある川崎医科大学付属病院・消化器外科、大阪は大東市にある野崎徳洲会病院、兵庫県姫路市にある入江病院などで一般外科を中心に消化器・肛門疾患、外傷、熱傷、褥瘡、感染症、麻酔などの治療に携わってきました。今回もこれら今まで携わってきた経験を元に近隣地域住民の皆様にも少しでもお役に立てたらと考えております。折しもおおくま

リハビリテーション病院は来年度急性期・回復期共に病床数を増やし大きく変革する移行期にあります。この時期に病院の一員として共に地域の皆様に貢献できる事は喜ばしくも身の引き締まる思いであります。

医学は日進月歩日々変わっておりますが、常にその波に乗り遅れないよう心がけて今後、新たな地であるこの病院で多くの皆様と出会えたらと思っております。まだまだ若輩者であり学ぶ事は沢山ありますがどうぞ宜しく御願い致します。



おおくまリハビリテーション病院
循環器内科部長
奥村 隆啓

平成23年4月1日よりおおくまリハビリテーション病院内科で勤務させて頂いております奥村と申します。専門は循環器で平成6年兵庫医大卒です。卒後兵庫医大の第一内科（現循環器内科・冠疾患科）に入局しましたが、こちらの病院に着任する直前は、兵庫医大のCCU病棟に勤務しておりました。CCU病棟では急性心筋梗塞や心不全等の重症循環器疾患を担当することが多かったのですが、これらの疾患に罹患されて

いる患者様の中には、元気に退院される方がいる一方、残念ながら治療の甲斐なく回復せず退院出来ない方や亡くられる方もいらっしゃいました。こちらではCCUで担当させて頂いていた患者様より初期の段階で診るケースが多くなると考えられ、今後は病気の予防や初期治療なども積極的に行い、重症化することを防ぐことにも力を入れたいと考えております。今後とも御指導御鞭撻の程よろしく御願い申し上げます。



大隈病院 放射線科
部長 吉本 敦史

この度、放射線科常勤医となりました吉本敦史です。

長崎大学医学部卒業後、兵庫医科大学病院放射線科に入局、主に腹部画像診断および血管内治療を行って参りました。その後、市立芦屋病院放射線科、医療法人社団吉本診療所（消化器内科、放射線科）、脳外科病院の放射線科を経て、ご縁があって兵庫医科大学放射線科医局員として大隈病院に参りました。

すばらしい病院に勤務できることとなり、とても嬉しく思っております。

また、計画されておりますリハビリ病院の増床・増築プランにはとても期待しており、画像診断医として少しでも病院に貢献できますよう頑張りたいと思います。

ご指導ご鞭撻を賜りますようどうぞ宜しく御願い申し上げます。

診療紹介

心療内科



おおくまクリニック
心療内科部長
栢原 尚之

私はおおくまクリニックで心療内科、精神神経科の外来診療および精神神経科領域を中心とした在宅医療を行っています。今年の7月で早くも3年が経ちますが、その間地域の先生方をはじめ、大隈病院、おおくまハピリテーション病院、おおくま訪問看護ステーション、老健おおくま、ほかから苑に多くの患者さんを御紹介していただき大変感謝しています。最近、「うつ病は心の風邪」と言ったように誰でもかかる病気という認識が広まり心療内科に受診しやすくなっています。しかしまだまだ認知症、統合失調症、そう病などあまり自分自身調子が悪いと思わない病態も多いため、そのような患者さんがいらっしゃれば受診を勧めていただけたら幸いと思っています。

さて、おおくまクリニックのある杭瀬地区はますます高齢者が多くなっています。そして認知症を持ちながら生活されている方々も大変多くいらっしゃいます。新聞などの

報道を見て家族の方から、「今年認知症に対する新しい薬が出るのですか？」とよく質問されます。そこで今後の認知症治療の変化について少し述べさせていただきます。現在の治療薬は塩酸ドネペジル（アリセプト）だけしかありませんが、新薬の出現で治療に対する選択肢は拡がり、さらに治療効果においても大変期待されています。その中で最初にアセチルコリン受容体以外にニコチン受容体にも作用するガランタミンが発売されます。さらに認知症状の進行抑制以外に不穏、興奮に対しても効果が期待されるメマンチンが発売されます。（地震で発売が少し遅れています）その後、経口摂取ができない患者さんに有効なリバスチグミンのテープ剤が発売されます。このように認知症の薬物治療は大きく変化していくため、認知症の患者さんでお困りの事があれば気軽におおくまクリニックまで相談してください。今後も微力ながらがんばって行きたいと思しますのでよろしくお願いいたします。



内視鏡検査・治療について



おおくまハピリテーション病院
消化器内科部長 西原 承緒

近年の内視鏡診療機器の開発と内視鏡検査・治療手技の発展には目覚ましいものがあります。当院におきましても、最新鋭の電子内視鏡ビデオスコープシステム・周辺治療器具を駆使して消化管内視鏡検査・治療を行っています。上部消化管検査では、経鼻内視鏡を用いてより苦痛の少ない検査が可能になりました。また各疾患に対して、より侵襲性の低い安全な内視鏡治療の提供を心がけています。



経口内視鏡と経鼻内視鏡

(1) 通常内視鏡検査

(i) 上部消化管内視鏡検査

平成22年度は年間468件（平成21年度：388件）の上部消化管内視鏡検査を施行しました。経鼻内視鏡の導入により、苦痛の少ない検査を提供できるようになりました。経鼻内視鏡はスコープが舌根に触れることなく消化管に到達するため吐気をほとんど感じず、鼻腔内に麻酔剤が塗布されるため痛みも軽減しています。また、患者は医師と会話することができるため、モニターを見ながら医師に質問するなど安心して検査を受けていただけます。

(ii) 下部消化管内視鏡検査

平成22年度は年間148件（平成21年度：85件）の下部消化管内視鏡検査を施行しました。当院では鎮静剤投与下での検査も可能で、より苦痛の少ない検査を心がけています。また切除が必要なポリープが発見された場合は、当日大腸ポリープ切除術を行っています。

(2) 特殊内視鏡検査・治療

内科・外科協力して下記の特特殊内視鏡検査・治療を施行しています。

- 内視鏡的ポリープ切除術・内視鏡的粘膜切除術
- 内視鏡的止血術・内視鏡的消化管バルーン拡張術
- 内視鏡的消化管ステント留置術
- 内視鏡的逆行性胆道膵管造影
- 内視鏡的胆道ドレナージ/ステント留置術
- 内視鏡的総胆管結石除去術（砕石・採石術、乳頭バルーン拡張、乳頭切開術を含む）
- 内視鏡的食道静脈瘤結紮術・内視鏡的静脈瘤硬化療法
- 経皮内視鏡的胃瘻造設術など



内視鏡的食道静脈瘤結紮術



胃アニサキス症
虫体を摘出

平成23年度 入社式

平成23年4月1日、合同入社式が尼崎市中小企業センターにおいて行なわれました。今年度は、総勢57名が、新



しくグループの一員となりました。入社式に引き続いて、既卒者には1日間、新卒者には2日間に渡り、社会人のマナーや安

全、品質改善、医療関連法規、プライバシー保護などに関する新任時教育が行なわれました。学生時代とは違って甘えの許されない厳しい世界に飛びこんだことに戸惑いながらも、皆、真剣に受講しておりました。



部署紹介

デイケア



介護老人保健施設おおくま
デイケア主任
東 正江

はじめまして。私は老人保健施設のデイケアに勤めている東と申します。

私もデイケアでは、介護士をはじめ看護師、セラピスト、管理栄養士・ケアマネと様々な職種でリハビリテーションを中心としたケアを行っております。それぞれの立場から利用者様一人ひとりを見てアプローチを行っております。

リハビリと言ってもいろいろありますが、残された機能を最大限に引き出す様に生活リハビリからパワーリハビリまで利用者様に合わせたリハビリをセラピストと共に話し合い情報を共有しながら行っております。同時にリラックス、レクリエー

ションも大切な事だと考えており、お風呂も二種類の方法で利用者様に浴槽に入って頂き、リラックスできる様にしております。又、レクリエーションも楽しみながらリハビリをして頂く様に、様々な職種が一塊となって取組み、毎日来所されても飽きのこない様にと考えております。

ボランティアの人々にも来て頂いて色々な会を開き、季節に合わせた食事も栄養士が考えて食べて頂いております。利用者様の笑顔を見て、言葉を聞いて新たな取り組みにチャレンジしていきたいと思っております。



朗源会 ウェルフェアグループ

大隈病院

尼崎市杭瀬本町2丁目17-13 TEL. 06-6481-1667

おおくまリハビリテーション病院

尼崎市東園田4丁目23-1 TEL. 06-4960-6800

おおくまクリニック

尼崎市杭瀬北新町2丁目1-18 TEL. 06-6489-0090

大隈病院附属歯科クリニック

尼崎市杭瀬本町2丁目17-1 TEL. 06-4868-8700

介護老人保健施設おおくま

尼崎市昭和通2丁目12-8 TEL. 06-6487-3900

特別養護老人ホーム ほがらか苑

尼崎市東本町4丁目103-11 TEL. 06-4868-2533

在宅事業部

尼崎市杭瀬北新町2丁目2-8 TEL. 06-6489-2520

・ 北部事務所

尼崎市東園田5丁目130 TEL. 06-4960-8885

・ 西部事務所

尼崎市上ノ島町1丁目14-35 TEL. 06-6420-7557

やまびこヘルパーステーション

尼崎市北大物町15-13-103 TEL. 06-6483-5775

朗源会本部

尼崎市杭瀬本町2丁目17-13 TEL. 06-6481-7711